

令和3年度 第2回鳥取市下水道等事業運営審議会 議事録

- 1 日 時 令和4年1月14日（金） 10:00～12:00
- 2 場 所 下水道部庁舎 3階大会議室
- 3 出席委員 増田貴則会長、戸苅丈仁委員、高部祐剛委員、星見喜昭委員、中村均委員、林浩志委員、西原牧夫委員、民野千秋委員、塚田比佳里委員、牛尾柳一郎委員、中島淳子委員
- 4 議 案 議 事 (1) 下水道等使用料の見直しについて
・ 前回のご指摘について
・ 答申案について
(2) 鳥取市下水道等事業経営戦略の見直しについて
・ ストックマネジメント計画について
- 5 議 事

発言者	質疑応答
事務局	<p>おはようございます。定刻になりましたのでただいまより令和3年度第2回鳥取市下水道等事業審議会を開催させていただきます。なお、塚田委員様は渋滞のため少し遅れて来られるようです。</p> <p>それでは改めまして、本日はお忙しいところ、また、あいにくのこの天候の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>それでは次第に従いまして本日の審議会を進行させていただきます。委員会定数12名のうち10名のご出席をいただいておりますので、審議会条例第6条によりまして、過半数出席ということで審議会を開催させていただきます。それでは、開会にあたりまして下水道部長よりご挨拶申し上げます。</p>
下水道部長	<p>本日は大変お忙しい中またお足元の悪い中ご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>本庁舎での新型コロナウイルス感染につきましては、皆様には大変ご心配をおかけしているところではございますが、報道でもご存じかとは思いますが、昨日の本庁舎4階での感染者は1名のみで、フロアの他の職員は陰性という結果でございました。引き続き感染症対策を行い、途切れない業務の遂行を行いたいと考えているところでございます。前回の審議会では来年度からの下水道等使用料につきまして、諮問させていただき、次期3か年の財政収支見込みとともに下水道等</p>

下水道部長	<p>事業経営戦略の見直し、修正につきましてご説明申し上げました。そして、令和4年度からの3か年は使用料対象経費の回収率は100%以上を維持できる見込みであるため、使用料は次期の3か年は現行のまま据え置くことが適当である旨のご意見をいただきました。</p> <p>本日の審議会では、前回ご指摘いただきました事項についてご説明するとともに、委員の皆様から頂戴した、ご意見などをもとに答申の案を作成しておりますので、その内容をご説明申し上げ、ご審議いただきたいと考えております。貴重なお時間をいただきますがどうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>続きまして、増田会長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p>
会長	<p>皆様、おはようございます。本日は新年が明けてまだ2週間というところで、まだ新年の忙しさも残る中ですがお集まりいただきまして大変ありがとうございます。また雪の降り積もる中、足元の悪い中お集まりいただきまして大変ありがとうございます。大雪にならず本当によかったなと思います。さすが鳥取というところで、冬の厳しさを改めて感じているところです。</p> <p>今回は前回11月の審議会で審議いたしました下水道等使用料の見直しについての諮問に対しての答申について審議を進めて行くこととなります。前回、概ねのところはご議論いただき同意をいただいたところもございますが、いくつか先ほど下水道部長からもありましたけど、ご意見いただいたところであったり、答申の付帯意見として検討してはどうかというところもありましたので、そういったところを中心として、答申の案を審議していくところであります。また、これも前回の審議会で紹介のあったものですが、下水道等事業経営戦略の見直しというところの中で、ストックマネジメントの詳細についてご紹介いただくという流れになっております。</p> <p>先ほど下水道部長から説明があったように、今後下水道等使用料についてはこの審議会としては3年間据え置きということ案にして進めさせていただいているわけですが、下水道等使用料については、市民の生活、産業といったところに非常に大きな影響を与えることですので、改めて慎重に審議してまいりたいと思っておりますので、皆様ご協力よろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本審議会条例第6条第1項の規定により会議の議長は会長が務めることとなっておりますので、これからの議事進行は会長様よろしくお願い申し上げます。</p>

会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは議事次第に従いまして進めさせていただきます。</p> <p>まず、議事録署名委員の指名ということになっております。この審議会では議事録を作成するにあたって毎回2名の委員に議事録署名委員となっていていただいております。議事録署名委員は議事録を確認したのち署名をしていただくというもので、審議会の名簿順で指名させていただきます。今回の議事録署名委員は名簿順でお願いすることとなりますが、よろしいでしょうか。特に異議等ないということに承認いただけたということにさせていただきます。後日、事務局が議事録を持参しますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、議案の審議へ参りたいと思います。本日は議事として2つ。「鳥取市下水道等使用料の見直しについて」と「鳥取市下水道等事業経営戦略の見直しについて」が上がっておりますが、まずは「鳥取市下水道等使用料の見直しについて」から審議してまいりたいと思いますので、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	～事務局説明～
会長	<p>ありがとうございます。ここでいったん切らせていただいて、確認に入らせていただきます。そうしましたら、ただいま事務局からご説明のありました、下水道等使用料の対象経費の見込み、算定期間の収支計画それから基本使用料、従量使用料負担区分についてのご説明がありました。これについて質問、ご意見等賜りたいと思います。何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
委員	<p>ご説明ありがとうございます。1点質問ですが、令和7年、8年のところを追加されて104.7%と103.4%になっていますが、ここに関しては要は新型コロナウイルス感染症の影響を排除して、令和元年度に立ち返ってみたいなご説明をされていたのですが、もし試算されていたら構いませんので新型コロナウイルス感染症の影響を排除されない場合でしたら、大口は減って小口はもう少し増えるようになると思うのですが、その場合でも令和7年、8年は経費回収率は100%を超えそうなのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。102%程です。100%少し超えるようなところです。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。前回11月の審議会では令和6年度までの数字で議論しましたが、本日は令和7年度、8年度も出していただきました。我々前回の審議会では向こう3年間は料金据え置きでいいのではないだろうかということにまとめてきたわけですが、このように令和8年</p>

<p>会長</p>	<p>度までの収支計画を見たうえでそれでも良いのかどうかというところを本日は審議してまいりたいと思います。事務局からお示しいただいた通り令和7年度、8年度も100%を超えるような経費回収率であるというふうになってございますので、経営への影響はないというところですが、その他何か質問等ございませんでしょうか。</p> <p>もう1点の使用料負担区分について、基本使用料、従量使用料それから、大口、小口と分けてご説明いただきました。これは今回の答申の中で今後調査検討していただくということを付帯事項として入れることを原案としておりますので、これに先立ってこれの内容を現状どうであるのかということをお委員の皆様にご把握していただくために作成していただいた資料となっております。先ほど事務局から説明のあった通り、有収水量は新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも増加していたところですが、大口から小口へ下水の需要がシフトしたために全体としての料金収入としては減少してしまったというのが令和元年度から令和2年度の推移であります。今後も新型コロナウイルス感染症の影響を受ける期間はそのような影響を受けるであろうと思います。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響を受けなくなったとしても、鳥取市としては長期的な人口減少を受ける局面となっております。核家族化や世帯数増加が続いている間は影響を受けるというところではなく、遠い先を見ると世帯数も減少していくことが予想されていますし、そうなってくると、従量部分でいただいている使用料が落ち込んでいくということが見込まれるであろうと思います。一方基本使用料というところで経営の安定を計ろうということもあります。ここですぐに結論を出すということではなく、今後、そういった長期的なことも見据えながら調査検討をいただくということを今回の答申では付帯意見として載せておくといったところでございます。</p> <p>何かお示しした資料についてご意見、ご質問等ございませんでしょうか。無いようでしたら資料のご説明に対してはご了承いただけたということにいたします。</p> <p>それでは、もう1点。資料の1-2の答申書案をいただいております。この審議会の開催に先立って皆様にはこの答申書案については目を通していただいているところだとは思いますが、概要について事務局からご説明いただいたうえで、この答申案を審議会としての答申としていくかを審議してまいりたいと思います。</p> <p>それでは、事務局よりご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局説明～</p>

<p>会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。ただいまご説明にありました答申書案について、何かご意見、ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p>内容については概ね前回の審議会でご審議いただいたことであつたり、ご意見いただいたことを盛り込ませていただいて、この答申書案を事務局と私とで作成させていただきました。本日、皆様には事前にお目通しいただいているところではございますが、ご意見をいただいたうえで最終的な答申書案の作成とさせていただければと思います。何かお気づきの点、ご不明な点等あればご意見、ご質問いただければと思います。</p> <p>何か答申書の書きぶり以外にも確認しておきたいところ等ございましたら、ご意見、ご質問いただけたらと思います。</p> <p>特にこの答申書案については前回の審議を踏まえたいうでの作成ということですし、特段の意見はないということで、この審議会の委員全会一致で承認したということにしたいと思います。これで、本審議会の諮問に対する答申書とさせていただきます。</p> <p>皆様から特段の意見等もございませんので、これで答申書に対する審議はいったん区切りとさせていただきます。</p> <p>事務局から何かございますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。今後の流れですが、今回のこの答申案ということで、修正等もないということで、こちらで答申を行いたいと思います。例年ですと、会を代表して会長から市長に答申をしていただいておりますが、今回につきましては会長代理である戸荻委員より答申をしていただく予定とさせていただきます。戸荻委員からは事前に了承をいただいておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>戸荻委員、よろしく願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>よろしく願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>そうしましたら、2つ目の議事である、「鳥取市下水道等事業経営戦略の見直しについて」に入ってまいりたいと思います。</p> <p>まずは事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>～事務局説明～</p>
<p>会長</p>	<p>ご説明ありがとうございました。ストックマネジメント計画という手法を取り入れることで、事業費の縮減効果があつたり、適切な維持管理、更新ができるといったようなご説明でありました。</p> <p>ただいまのご説明に対して委員の皆様からご意見、ご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>私の方からお聞きしたいのですが、先ほど7ページで農業集落排水事業に関するストックマネジメント計画の方針をお聞きしましたが、</p>

委員	<p>確か最適整備構想は今年度からだったでしょうか、来年度からでしょうか。新しく維持管理計画を作りなさいというものができたと思うのですが、維持管理計画を作成して、その中で統廃合なり再編なり、あるいは低炭素、脱炭素、あるいは創エネ、再エネなどを考慮しながら維持管理計画を立てて、そのうえで最適整備構想を作成しなさいというふうになったと聞いたのですが、その維持管理計画も令和4年から6年の中に含まれて、それをしたうえで最適整備構想をまとめていきますよと。令和4年度から維持管理計画にも取り組んでいくという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>ご指摘の通り、維持管理計画の策定が今後義務付けられておりまして、最適整備構想と同じようなスケジュールで今後整備を図っていく方針でございます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>維持管理の計画も合わせて進めたうえでの最適整備構想であるとのこと報告でした。</p> <p>何かほかにご意見、ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>それでは私からですが、6ページの公共下水道のストックマネジメントについてですが、管渠の更新となるのでしょうか。長寿命化とありますが、それぞれの各年度ごとの事業費と管路の更新、延長が記載されていると思いますが、これは大きな変動がないようなペースで行われているのかなと理解できますが、管路の年あたりの更新はどれくらいのペースで進んでいるのでしょうか。全体の管路延長が分かれば、毎年1.5～2.0kmというのがどれくらいの更新率になるのかなと。これが更新ではないのでしたら今私が質問していることが見当違いとなりますが、更新ということでしたらどれくらいのペースで更新しているのでしょうか。あまり更新率が低いようだと、将来大きな更新率になってしまうのかなと思ってお聞きしている次第です。平準化されているということでしたので、それなりのペースになっているのかなと思いますが、どれくらいのペースであるのか率が分かれば事務局お願いします。</p>
事務局	<p>年あたりの更新率がどのくらいかということについてですが、まず方針としてはストックマネジメントにおける管渠の長寿命化、老朽化対策というのは管更生という手法を取っております。毎年の更新の延長についてはストックマネジメント計画におけます管路の更新の優先順位をつけまして、年々の事業量を整備しています。更新数に関してはただいま資料を持ち合わせておりませんので具体的な数字について</p>

事務局	はお答えすることができません。申し訳ございません。
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>平準化されるようなことで進められているというご回答でしたし、この数字自体は管路更新ではなくて長寿命化の数字だということで、それについて納得しました。ありがとうございました。</p> <p>その他何かございますでしょうか。</p>
委員	<p>5ページのグラフのことで伺いたいのですが、ストックマネジメントを導入した場合の方で、基本的に処理場の長寿命化をして更新費を平準化して、処理場は数がそこまで増えないので大体一定の額が計上されていて、後半に行くにしたがって当然なのかもしれませんが、管路のウェイトが増えてくると。管路の更新、管更生のウェイトが増えてくるとと思いますが、新設の管渠の敷設自体が終われば、あとは通常統廃合など計画があって、最終的に形が確定となったときに、今後は常に均した状態で定常状態で更新、長寿命化をしていくのかなと思いますが、2050年くらいから大体25億少し超えるくらいの年間の予算でずっと推移している感じですが、この時点が定常化といっているかわかりませんがそのような状態であると思うのですが、これ例えば今の2020年の予算の大体18億から20億に比べて増加していますが、予算的には対応可能なものなののでしょうか。先の話となってしまうのですが。</p>
事務局	<p>将来にわたっての投資計画ということで、管路の長寿命化におきましては敷設したピークをピークカットしてさらに標準耐用年数の50年の1.5倍の目標耐用年数というのを見込みましてもどうしてもこういった形で均したところでも管渠の長寿命化というところは増えてまいります。ですので、具体的に予算の目途が立つかどうかというところについては中期的な計画を整備していかないといけないところですが、そのあたりが管路の長寿命化につきましては課題であると考えています。</p>
委員	<p>基本的にイメージとしては、平準化してこの25億くらいの値になったとしても、将来人口が少しずつ減少していくようなことがあると、負担としては大きくなるというイメージを持っておけばいいのでしょうか。</p>
事務局	そのように認識しております。
委員	わかりました。ありがとうございます。
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>大変重要なご指摘というか、我々向こう数年間の財政収支見込、下</p>

<p>会長</p>	<p>水道等使用料について審議してきましたが、今こう言った長期的な数字を見せられますと今後の下水道等使用料の負担がどうなるのかといった先行きのところが少し気にもかかってくるところではございます。老朽化が進むにつれて更新費用というのが増加してくる事態というのは不可避ではございますが、それを平準化してもなおこういった将来の負担がやや大きいといったところが長期的にはあるのかもしれないといったようなご説明でしたので、今後より長期的な視点で下水道等事業の経営が安定的になるように検討を進めていただければと思います。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>5ページのストックマネジメントを導入した場合のグラフですが、先ほど委員から2050年ごろまで事業費は定常状態に達しているというお話がありましたが、2050年以前までの2018年から2030年ごろまでは同じような数字が続いて、一度少し下がって10年くらいまた同じ数字が続きました上がっています。このグラフには変曲点があると思うのですが、どのような要因でこのような試算になっているのかご教授いただければと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>長寿命化における事業費の変化点における具体的な内容についてのご質問だと思うのですが、ピークをカットしたうえで目標耐用年数というものを標準の1.5倍というところで設定するうえにおきましても、具体的に平準化を図るにあたっては、前後にずらしたりといったところであったりするのですが、そういったところでの事業費の変化といったところなのですが、今具体的に何が要因でといったところは申し上げることができないのですが、平準化を図ったうえでこのような状況でありますというところをお見せしたところであります。申し訳ございませんが具体的なご説明をすることができません。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>これは標準の寿命についてはすべて1.5倍したうえで更新需要が発生する時期を見込んで前倒ししたり後ろ倒ししたりして平準化しているところですかね。あまり平準化ばかり導入して前倒ししすぎると結局施設や管路の寿命が来る前に更新を迎えてしまうので逆にもったいないということで更新の時期が先送りになるということで完全な平準化は達成できないということで理解しているところです。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>そうですね、前倒しか後ろ倒しかで言うとなるべく後ろの方でということで、なおかつ標準の耐用年数を1.5倍程度ということで、こ</p>

事務局	<p>これは管渠については1.5倍というところですが、その他機械設備、電気設備におきましても1.5倍見合い程度ということですから、なるべく後ろ倒しをするという考え方で整備しています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>すべてが1.5倍ではなくて、実績等に基づいて他都市の事例ですとかを参考に1.5倍前後を目標にされて、後ろ倒しの考え方をとっていますが、あまり後ろにならないようにされているのですよね。あまり後ろに倒すと機械等の故障費などが上がってくるので心配なところではございます。</p>
事務局	<p>壊れてしまってからではいけませんので、そういうことにも配慮しながら平準化を図っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その他何かございませんでしょうか。何かお気づきの点や、この機会に聞いておきたいことなどございましたらお願いします。特にございませんでしょうか。</p> <p>それでは、2つ目の議事である「鳥取市下水道等事業経営戦略の見直しについて」ご質問のあったストックマネジメントについてのご報告でしたが、以上を持ちましてこの事項についての審議を終了したいと思います。ありがとうございます。</p> <p>それでは、その他に本日は議題等準備されていませんが、6番のその他について事務局から何かございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>事務局からは特にございませません。</p>
会長	<p>事務局からは特にないということです。</p> <p>今回は順調に審議が進みましたので、次回審議会等を開催する必要はなく、今日取りまとめた内容について戸荻委員から市長に答申いただくということになります。今回下水道等使用料の審議をしてまいったわけですが、値上げではなかったということで比較的スムーズに議論を進めることができたのかなと思います。委員の皆様も値上げとなるとかなり心理的な負担も大きくなる場所ですし、私としても責任重大だなというところで大変な審議になることが予想されるわけですが、今後の経費回収率、事業計画等を見て現状の使用料の水準で経営していけるだろうというご判断いただき、審議会としての答申もまとめることができ私もホッとしております。大変ご協力ありがとうございます。</p> <p>以上を持ちまして、第2回下水道等事業運営審議会を閉会いたしたいと思います。委員の皆様には長時間にわたりましてご審議いただき</p>

会長	ありがとうございました。
----	--------------